

核のごみ持込ませないことを表明せよ

核のごみ最終処分場の説明会の申し入れを受ける考えはない



稲留 光晴 議員

*NUMOによる核のごみ処分場の説明会を拒否し、核のごみを持ち込ませないことを明確に表明するよう求めて11月2日、本町へ要請行動を行った。町長の見解を問う。

説明会の申し入れを受ける考えはない

町長
本町への要請行動での要望書はうけとった。当然ながら核のごみ最終処分場に関する説明会の申し入れを受ける考えはない。

中央公民館遺跡資料展 示物の陳列改善求める

稲留議員

展示物の可能な限り、目線に近い陳列や、年代表示、説明書きが必要ではないか。



年代別の説明が望まれる展示場

今後改善をはかっていく

教育長

限られたスペースの中でわかりやすくし、表示説明や年代別に陳列するように改善していく。

教育支援委員会の組織と目的は何か

稲留議員

障害を持つ子どもと、その保護者は進学・進級について多くの悩みを持つている。その立場で相談に乗ってくれるのが教育支援委員会だと考えるが、その組織と目的は何か。

障害のある児童・生徒に 適正な就学をはかる

教育長

大崎町教育委員会の諮問において協議をおこなう。障害のある児童・生徒に関して総合的・科学的判断を行い、適正な就学をはかることを目的としている。

当事者の意向を尊重 すべきではないか

稲留議員

障害を持つ児童・生徒は、動作、反応などおくれる。科学的な判断をベストな選択とするより、親と子の考えを最も尊重してより良い選択をすることが必要ではないか。

最終的には保護者の 意向を尊重する

教育長

その子にとって自立をはかるためにどこに就学させるべきか。就学指導では、就学支援委員会に出された判断をもとに、就学についての指導を繰り返すが、保護者がそれでも納得されない場合がある。そのときには、保護者の意向を尊重する判断になる。

大崎中学校の支援学級 は一階に設置できないか

稲留議員

障害を持つ子どもは、車いすで二階への移動は大変困難である。また支援体制も改善が必要であることから支援学級を一階に設置できないか。

納得できる進め方で きたら良いと考える

教育長

最終判断は教育委員会が判断しなければいけない。中学校で生活できるよう町長部局とも相談しながら進めていく。保護者の要望など聞き、お互いに納得できる進め方がきたら良いと考える。最終的には保護者の意見を聞いて検討する。

*NUMOとは

原子力環境整備機構の略称で放射性廃棄物の地層処分技術の研究がはじまり、地下300メートルより深くに埋める法律が決まった。この法律に基づき設立された団体。